

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行後

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行後

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行後

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行後

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は現況

平成12年9月7日撮影

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行中



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は鹿被害

平成13年3月2日撮影

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課題	14-1 暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立 (その1) (イチイガシ等の新たな実証試験林(展示林等)の造成)		継続 新規	担当	森林技術 センター (業務第I係)	開発 箇所	去川国有林 263は林小班		
	開発期間	平成8年度～平成66年度							
目的	有用広葉樹(イチイガシ・クス・タブ・ケヤキ等)及び特用樹の広葉樹適地判定育成技術等の人工林施業体系化の確立を目的とし、施業実績や実証データを収集し、暖温帯有用広葉樹等の展示林等として活用する。								
年度別実施経過	13年度実施報告		14年度実施計画						
	実施内容	備考 (評価及び普及指導)							
平成8年度 1, 試験地設定 2, 地拵・植付(春植) 3, 樹高・根元径・枝長の測定 4, 試験地標示 5, 施肥 平成9年度～平成10年度 1, 生長量調査(樹高・根元径・枝長) 2, 施肥 3, 下刈 4, つる切 平成11年度 1, 生長量調査(樹高・根元径・枝長) 2, 下刈 3, つる切 平成12年度 1, 生長量調査(樹高・根元径・枝長) 2, 下刈 3, つる切 4, 補植	1, 下刈 (6月) 各樹種の生長に応じて、全刈・筋刈を実施 また、生育の良い樹種については、無下刈とした。 面積: 3.00ha 人工数: 39.125人 2, つる切 (8月) 面積: 3.00ha 人工数: 20.000人 灯油: 20ℓ 3, 試験地調査(生長量調査)2月～3月 調査野帳別途保管(平成14年3月調査) 人工数: 29.250人 4, 試験地管理(年間4月～3月) 人工数: 48.375人 歩道の草払い及び柵枝等を実施 整枝は、イチイガシ・ヤマグワ・クリノキ ケヤキ・クスノキ・シラカシ等で実施した	1, 実施結果 概ね各樹種とも生育良好であるが、一部の樹種に枯損・生育不良・病虫害・獣害等が発生している。 テウチグルミ・キハダに枯損が多く早期の対策が必要である。 ネムノキ・ヤマザクラ・オガタマノキに、鹿食害が発生している。忌避剤入りのビニール袋(ケリソップ®)で林縁を開き防除しているが、被害が後をたたない。 ヤマグワにコウヤク病が大量に発生している。防止対策として、携行用殺虫スプレーを吹き付け効果を上げている。 害虫被害として、コウモリガ・ゴマフボクトウ・クワカミキリ等の被害が発生している。 コウモリガ: イチイガシ・キリ・ミズナラ ケヤキ・コナラ・タブノキ・カシ類 クリ・クヌギ・ブナ・ヤマモミジ等 ゴマフボクトウ: ケヤキ・ミズメ・ブナ タブノキ・ヤマグワ・イタヤカエデ等 コウヤク病: ヤマグワ・キリ	実施 計画	1, 生長量調査(樹高・根元径・枝長) 2, 改植 シロダモ・ネムノギ・チシャノキ ヒメユズリハ・ヤブツバキ 3, 補植 ハリギリ・・・山引き苗 4, 下刈					
				経費科目					
			内 訳	物件費					
				役務費					
			人 件 費	基職	()人				
				臨時	人				
			計		()		千円		

(注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
 3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

試験経過記録

区分	自主課題
----	------

平成12年度実施内容

1, 下刈

各樹種の生長に応じて、全刈・筋刈・坪刈を実施。また、生育の良好な樹種については、無下刈とした。

面積：3.72ha

人工数：33.750人

2, つる切

灯油20㍓

人工数：28.500人

3, 補植

ハリギリ山引き苗18本

人工数：3.875人

4, 生長量調査

樹種別生長量調査野帳別途保管

人工数：36.250人

考察

概ね各樹種とも生育良好であるが、一部の樹種に枯損生育不良及び獣害等が発生している。テウチグルミ・キハダに、白紋羽病と思われる枯損が発生した。ネムノキ・ヤマザクラ・オガタマノキに、鹿食害が発生している。ヘキサチューブを設置したが、チューブの劣化に伴い被害が再発している。また、忌避剤入りのビニール袋（商品名グリーンコップ）で林縁を囲み侵入させない方法を実施している。ヤマグワ・テウチグルミに、コウヤク病が発生している。防止対策として、蜂・ダニ防除用携行殺虫スプレーを吹き付け効果を上げている。

害虫被害として、コウモリガ・クワカミキリ等の被害が発生しているが防除対策が確立されていない。

今後、当試験地ではこのような各種被害の発生が予想されることから防除対策が最大の課題となる。

平成13年度実施内容

1, 下刈 (6月)

各樹種の生長に応じて、全刈・筋刈を実施また、生育の良好な樹種については無下刈とした

面積：3.00ha

人工数：39.125人

2, つる切 (8月)

灯油：20㍓

面積：3.00ha

人工数：20.000人

3, 試験地調査 (生長量調査) 2~3月

調査野帳別途保管 (平成14年3月調査)

人工数：29.250人

4, 試験地管理 (年間4~3月)

人工数：48.375人

歩道の草払い及び整枝を実施した。

整枝は、イチイガシ・ヤマグワ・クリノキ・ケヤキ・クスノキ・シラカシ等で実施した。

考察

概ね各樹種とも生育良好であるが、一部の樹種に枯損・生育不良・病虫害・獣害等が発生している。

テウチグルミ・キハダに枯損が多く、早期の対策が必要である。

ネムノキ・ヤマザクラ・オガタマノキに、鹿食害が発生している。忌避剤入りのビニール袋 (グリーンコップ) で林縁を囲み防除しているが、被害が後をたたない。

ヤマグワに、コウヤク病が大量に発生している。防除対策として、携行用殺虫スプレーを吹き付け効果を上げている。

害虫被害として、コウモリガ・ゴマフボクトウ・クワカミキリ等の被害が発生している。

コウモリガ：イチイガシ・キリ・ミズナラ・ケヤキ・コナラ・クヌギ・ブナ・ヤマモミジ等

ゴマフボクトウ：ケヤキ・ミズメ・ブナ・タブノキ・ヤマグワ・イタヤカエデ等

コウヤク病：ヤマグワ・キリ

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)



ユリノキ



シリブカガシ



オニグルミ



シラカシ

平成13年度 263は無下刈
平成13年6月11日撮影

状況記録写真

設定 No.14-1

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



キリ



ヤマザクラ



クスノキ



イヌエンジュ

平成13年度 263は下刈実行後
平成13年6月11日撮影

状況記録写真

設定 No.14-1

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



アカガシ



チャンチンモドキ

平成13年度 263は無下刈

平成13年6月11日撮影

状況記録写真

設定 No. 14-1

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成13年度 263は下刈実行後 遠景

平成13年6月11日撮影

状況記録写真

設定No. 14-1

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



タブノキ



ブナ



イヌマキ



ミズナラ

平成13年度 263は下列実行後
平成13年6月11日撮影

状況記録写真

設定NO.14-1

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



ケヤキ



ヤマグワ



テウチグルミ



シロダモ

平成13年度 263は下列実行後
平成13年6月11日撮影